



語学学習について

多くの英会話スクールが、自分たちの「英語学習システム」が一番だと主張しています。しかし、英語学習にとって重要なのはシステムではありません。重要なのは人、つまり語学学習者なのです。英会話スクールは語学学習の中心となるものではありません。学習者自身が学習の中心です。生徒は一人一人違い、それぞれに合った勉強法があります。ある生徒に効果的な方法が、必ずしも他の生徒にも効果的とは限りません。順調なスキルアップを望むのであれば、**自分に一番合う方法**で学ぶ必要があります。

語学学習には目的意識が必要です。たとえその目的が生活の質を高めるといった、大まかなものであっても。そして、上達しようというモチベーションを長期にわたり維持する能力も必要とされます。語学学習には時間と努力を要しますが、一番の鍵となるのはモチベーションの維持です。モチベーションの問題点は、筋肉と同様、使うと疲れてしまうことにあります！

では、どうすれば語学学習に対するモチベーションを長期間維持することができるでしょうか？検討すべき3つの点を以下に挙げています。

1. **賢く努力する。**
2. **学習プロセスに楽しい一面を見つける。**
3. **定期的に自分がどれだけ上達したかを測る。**

これらのポイントについてももう少し詳しく見てみましょう。

1. **賢く努力する**

英語には「Practice makes perfect（練習を積み重ねれば完璧になる）」という諺があります。一見その通りのように聞こえますが、実際には違います。「**Good practice makes perfect（良い練習を積み重ねれば完璧になる）**」（「Perfect（完璧）」になるのは不可能であり、語学を学ぶ過程において障害となるため、「**Good practice makes good enough（良い練習を積み重ねれば十分に良くなる）**」の方が、個人的には良いと思いますが！）つまり、それぞれ**自分にあった「良い練習」**を見つけることが重要なのです。

まず、最も効果的な学習方法を見つける必要があります。それは、先生や英会話スクールや

親友のアイデアではありません。自分自身にとって一番の方法です。大人の学習者は誰でも、すでに特定の分野において、上達につながる学習スキルを会得しています。あなたにとって、それは料理でしょうか？ヨガが得意でしょうか？経理や簿記が得意という方もいるでしょう。そこで、自分自身に聞いてみるのです。「どうやってそれが得意になった？」「スキルアップのために何をした？」自分自身にこのような質問を投げかけると、次の2つのことが分かります。(i)ある分野において、自分がどのようにしてスキルアップをしたのかが分かっているということと、(ii)自分には自分好みの学習方法があるということです。さあ、自分好みの学習方法を羅列し、どうすればそれらを語学学習に応用できるかを考えてみましょう。自分好みの学習方法を取るということは、**自分にとって最も効果的な方法を取ると**いうことです。これが最も有意義な努力の方法です。

2. 学習プロセスに楽しい一面を見つける

私はこれまでに、マラソンを何度か走ったことがあります。私は才能のあるランナーではなくマラソンを走るのは嫌いです。マラソンは退屈で、きつく、トレーニングに多大な時間を要します。しかし、ゴールテープを越える時の感覚は大好きです。あの感覚は素晴らしい—私は真の達成感に満たされます。あの瞬間を思うと、全ての苦しみに価値を見出せます。さて、私は古い英語の諺「No pain, no gain (痛みなくして得るものなし)」が常に正しいと言っているわけではありません。なぜなら、時には痛みしかないこともありますから！私が言いたいのは、何かを長期間に渡り満足いくものにするには、楽しむことは必須だということです。

真の満足感とは、何かを達成して終わる困難な旅から生まれます。アイスクリームを食べるのは楽しいことです。しかし、食べた後に**達成感**を感じますか？何かを長い間続ける場合、達成することで得る楽しみを見出さなければなりません。それ無しでは、挫折してしまいます。そして、それまでの努力は水の泡となってしまいます。

3. 定期的に自分がどれだけ上達したかを測る

ここまでに、3つのポイントは相互関係にあるとお気づきでしょう——三角形の角のように。苦しみと達成感の両方を兼ね備えた楽しみを見出すには、自分が何を成し遂げたのかを確認する必要があります。マラソンの場合、スタートラインからの距離は5km、10km、15kmといった具合に進んだ距離が分かるよう、あえて印がつけられています。その目印によってゴールテープが近づくわけではないものの、すでにどれだけ走ったかが確認できることによって、ランナーたちはモチベーションを与えられます。

距離を測るのは簡単ですが、英語力はどのように測れば良いのでしょうか？ある生徒が私に、英語学習はバケツで海の水をすくって空にしようとするのに似ていると言いました。何

度バケツで水をすくい後ろに捨てても、海の水位は一向に下がりません。これは非常にやる気を失わせます。秘訣は、後ろを振り返り、それまでにバケツでできた湖の存在に気づくことです。その湖の深さは？幅は？長さは？湖を測ると、どれだけ自分が前進したのかが分かり——努力を続けるモチベーションとなります——「海を空にする」のではなく「湖を作る」ことに対して。このように、進み具合を確認すること——そして自分が成し遂げたことから達成感と満足感を見出すことは、モチベーションを維持する鍵となります。

英語力を測る方法はたくさんありますが、分かりやすい方法はテストを受けることです。例えば、TOEICを受けてスコアが上がる。明らかに英語が上達し、良いスコアを取ったことが勉強へのモチベーションとなり、さらに上達します。しかし、TOEICのスコアが下がるとどうなるでしょうか？恐らく、最初はやる気が落ちるでしょう。しかし、より良い英語話者になるための旅において、これは有益な情報となります——また、これもモチベーションのもととなるのです。スコアが下がるとどのような情報が得られるのでしょうか？勉強法に改善が必要？もっと良い英会話スクールを見つけるか、オンライン学習に変えるべき？もしくは、単純に休憩が必要——やる気になるまでしばらく勉強を休む？例を挙げていては永遠に続いてしまいますが（そして、主観的ですが）、このような疑問が語学学習のプロセスにおける次のステップへの有益な情報となります。

英会話スクールは英語学習の旅のほんの小さな一部です。私たちは学習指導や英語でのコミュニケーション能力向上のための良い環境を提供しますが、肝心なことは、**自分に最適な方法が何なのか考えることに時間をかければ、答えが分かる**ということです。あなたが自分の語学学習のプロセスに英会話スクールが必要だと考えた際に手助けできるよう、私たちはここにいます。それを決めるのは、あなた自身です。

英語学習、頑張ってください！